

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+6.7%、前年同月比▲1.4%。売上高は前月比+8.2%、前年同月比+7.6%となった。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

売上が前月比でやや減少となった。そのような中で、コストは上昇している。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

令和6年11月の新設住宅着工戸数は65,037戸で前年同月比▲1.8%、季節調整済年率換算値では775千戸(前月比▲0.5%)となった。利用関係別では、持家は19,768戸で前年同月比+11.1%、貸家は26,717戸で▲5.5%、分譲住宅は18,146戸で▲7.3%、また木造住宅は38,854戸で前年同月比+0.3%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家が2ヵ月連続の増加となり、貸家が2ヵ月連続の減少、分譲住宅が7ヵ月連続の減少となった。木造住宅については3ヵ月連続の増加となっている。

【広島県】

11月の着工戸数は1,264戸で前年同月比+2.2%、うち持家は404戸で+26.6%、貸家は529戸で+22.2%、分譲は331戸で▲29.4%であり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比は増加し、延床面積も前年同月比+2.2%となっているものの、木材需要の見通しは厳しい状況に変わりはない。

丸太価格は製材所の手持ち在庫が少ない中で冬場の在庫用に引き合いが強いことや、発電燃料のひっ迫により低質材の相場が底上げされている。資材価格や人件費・電気代などの諸経費の上昇分を価格転嫁できていない状況にある。また、プレカット工場の稼働が盛り上がり続いている状況が続いており、12月は11月に続き8割台で足踏みしている。

福山木材協同組合

売上高は前月比で減少したが、仕事量は増加傾向にある。金利上昇や資材価格高騰が今後も続くと考えられる。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

郵便料金の値上がりにより、年賀状の需要が著しく低下した。また、材料費や人件費等の上昇分を十分に価格転嫁できていない。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

売上等に大きな変化はない。先を予測することが困難な状況であるが、中長期的な業界の発展を目指して行きたい。業界特有の確かな技術を活かして事業を活性化させていく必要があると感じる。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・為替の影響などで原材料価格が高止まりしているため、材料ロス低減への取り組みや価格転嫁の実現に向けた継続的な施策が必要
- ・自動車業界向けの受注は、前年同月比で減少しており、厳しい状況が続いている

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
 - 令和6年12月 2,523 m³ (前年比93.2%)
 - 令和6年11月 2,380 m³
 - 令和5年11月 3,153 m³
- ・令和6年度想定数量

700,000m³

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は、前月比+1.5%、前年同月比+12.5%となった。日工会の記者会見では、内需で前月比増加も外需の大型受注が縮小したため、3ヶ月ぶりの1,200億円割れとなったことが発表された。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

売上は前月比▲8%、前年同月比▲8%となった。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は欧州とアジア地区向けが低調に加えて、米国市場向けの生産が調整となったが、新型車の大型SUVは今期全てが出揃い、期待は大きい。

(12月度自動車国内販売動向)

全需は330千台と前年比▲9.1%と減少。(登録車は▲9.3%、軽自動車は▲8.8%)、マツダ車は+1.4%と3ヶ月振りに増加した。内訳は登録車▲11.7%(7.7千台)、軽自動車+62.2%(3.0千台)。

(11月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,370千台で、前年同月比+10.1%と増加。マツダは+20.6%と、5ヶ月連続で増加した。

欧州の全需は1,136千台で、前年同月比▲2.9%と減少。マツダは▲16.5%と5ヶ月連続で減少した。

中国の全需は2,841千台で、前年同月比▲2.9%と2ヶ月連続で減少。マツダは▲0.4%と7ヶ月連続で減少した。

マツダの11月の海外販売は、北米がインセンティブを投入して増え、欧州、アジア地区が減少になったが、全体としてはプラスとなった。合計台数は96.0千台、前年同月比+10.1%と増加した。

(11月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、欧州向けの低迷に加えて、北米の在庫調整が加わり、輸出全体では前年比▲16.7%の減少となった。国内生産台数は生産調整が続き、前年同月比で▲16.2%の減少となった。

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和6年11月の船舶建造許可実績は3隻、200,400総トンであった(前月3隻60,190総トン、前年同月3隻106,100総トン)。内訳は、輸出船が3隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・資材卸売業者が主体ではあるが、昨年までの部材仕入難も解消され、売上高は増加基調で推移し、収支も好転している。特徴的なものとして住宅関連は着工戸数の減少等で伸び悩んでいるが、非住宅関連は事業者の設備投資等が回復基調にある。また、自動車部品関連は今年の半導体不足が解消され、受注状況も回復している
- ・一方で物価や人件費の高騰等により更なる固定費の削減を余儀なくされる事業者も散見されている。一部には賃借料やリース料の支払いが重荷となり、次回更新時に契約解除に踏み切らざるを得ない事業者もいる。その他、昨年と比較し金融環境の変化により新規借入金利が上昇しており、金利負担増も考慮した企業経営の必要性が増している

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

高圧ケーブル、コンデンサ等の一部の商品の供給が滞っている状態で、年度末に向けて更なる供給不足が予想される。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

当月の実績は、びんご特選では前年比73.8%、JAS表が前年比67.4%となった。藁草を原料とする畳表離れが進んでいる。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・12月度中央市場水産部の取扱高は、前年実績並みとなった。一般消費者向けの販売はコロナ前の水準に回復しているが、出来合いのおせち料理を買う傾向が高まっているため、正月用の食材としての水産物の需要が頭打ちになっている
- ・12月度中央市場青果部の取扱高については前年比で117%と増加したが、単価上昇によるものであり、入荷量としては前年比90%である。単価は前年比116%で市場に物が少ない状況は変わっていない。また、野菜の生育状況は低調で特にキャベツの値段が上がっている

協同組合三次ショッピングセンター

施設全体の売上は徐々に増えているが、昨年はリニューアルオープン効果で売上が大きかったため前年以上とはならなかった。燃料費、光熱費の値上がりで経費が増加し利益を圧迫している状態が続いている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和6年12月度販売実績101%（前年同月比）。AV商品100%、白物商品101%、薄型テレビ102%（内有機EL58%）、DVD94%、冷蔵庫93%、洗濯機105%、IHクッキングヒーター114%、エコキュート99%、エアコン107%、炊飯器106%、電子レンジ105%、掃除機57%。

家電商品販売のみではなく、オール電化・リフォーム等の提案力が重要。我々の業界はカーボンニュートラルに対して、省エネ商品の販売や電化事業の推進により貢献していることを自覚する必要がある。

●商店街

呉本通商店街振興組合

当地区商店街に、2店舗が新規開店し、今後は1店舗が開店準備中である。商店街内には、まだ空き店舗が多数ある状況。

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

原油価格の高騰対策である「燃料油激変緩和対策事業」について、補助額を段階的に減少させる措置が閣議決定されたため、仕入価格および販売価格が上昇している。また、原油高と円安の進行により、今後もさらなる価格上昇が予想される中で、業界全体では販売量の減少が続いており、依然として厳しい状況が続いている。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比+6.6%、前年比▲0.9%
- ・車検場収入は、前月比+2.3%、前年比▲4.6%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲2.5%、前年比▲4.6%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

当月は閑散期に入り、売上等は減少傾向にある。年度末の受注増加に期待したい。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

引き続き採用に苦慮している。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、12月度は前月比+32.4%、前年同月比▲12%となった。広島駅再開発や広島市内のテナントビル関連の案件が増加したことが前月比増加の主な要因である。

福山地区電気工事業協同組合

当月分の受付件数は292件、前年同月比79%で減少となった。

神辺建設業協同組合

当月は、前月比や前年同月比ともに売上が減少した。加えて、物価高騰が続いている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比と前年同月比ともに減少となった
- ・軽油価格は、政府の補助金の段階的な縮小が12月19日より始まったため、大幅な値上がりとなった

松永地区トラック事業協同組合

- ・売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった
- ・政府の補助金が減少し、軽油価格は次月から5円程度上がると聞いている。今後はさらに値上げとなることが予想されるため、燃料サーチャージを導入していない事業者は非常に厳しい経営を強いられると考えられる

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は12月が地価公示等公共の仕事の影響で、一般鑑定をやや控えた分売上が減少した。前年同月比については、変化はない。今年度全体で見ると固定資産評価の公的評価作業が無い分収入は減少する見込み
- ・不動産市場については、住宅地、商業地ともに売買が減少している。一般向けでは、材料費の高騰や人手不足により戸建住宅や共同住宅の建築等が減少している。マンション販売についても、価格高騰により新築・中古ともに売れ行きが低調である